

## 令和2年度 教育課程研修会 報告書

- 1、日時 令和2年11月6日(金) 午後1時 ～
- 2、会場 静岡県私学会館 5階大会議室
- 3、出席者 51名（教務部長、教務主任等教務分掌の責任者及びこれに準じる教務担当教諭）
- 4、日程
  - 13:00～ 開会  
部会長挨拶 静岡学園中学校・高等学校  
校長 鈴木 啓之 先生
  - 13:10～ 講演「新学習指導要領実施に向けて」  
講師 静岡県教育委員会 高校教育課 指導第1班  
教育主幹 岡野 哲也 先生
  - 14:40～ 連絡事項 閉会
  - 15:00～ 希望校による個別相談  
相談講師 静岡県教育委員会 高校教育課 指導第1班  
教育主幹 岡野 哲也 先生
- 5、内容
  - 開会
  - (1)部会長挨拶
    - ・研修会実施の経緯と教育課程編成上の課題について
    - ・公立高校の教育課程作成の状況について
    - ・本日の研修の内容、講師紹介
  - (2)講演
    - 1 新学習指導要領実施に向けたスケジュール
  - ①教育課程変更等のスケジュール
    - ・公立高校は11月27日に新課程変更案を提出し、2月に各校へ返却、6月に再提出
    - ・教科書の検定が令和2年度に行われる
    - ・大学共通テストの科目は令和3年度に公表
  - ②学習指導要領改定の考え方
    - ・「何を学ぶか」から「何ができるようになるか」
    - ・知識・技能の習得だけではない社会で生きる力の育成
  - ③これからの教育課程の理念
    - ・「社会に開かれた教育課程」
    - ・地域の資源を活用し、社会と共有・連携をしながら取り組む
  - ④教育内容の主な改善事項
    - ・言語能力の確実な育成、理数教育の充実、伝統や文化に関する教育の充実
    - ・道徳教育の充実  
道徳教育推進教師を中心に、全ての教師が協力して展開する
    - ・外国語教育の充実
    - ・職業教育の充実  
小、中、高の系統的な職業教育を展開する
    - ・主権者教育、消費者教育、防災・安全教育の充実

## 2 学習指導要領の改訂に伴う移行措置

### ①教育課程の特例の適用時期と対象

### ②移行期間の内容

- ・移行期間中における学習評価は現行の評価基準に基づき行う

## 3 学習評価

### ①観点別学習状況の評価の観点の整理

- ・4観点から3観点到
- ・指導要録に観点別評価を記載する
- ・公立高校では2学期の試験の評価で観点別評価を取り入れ、研究を始めている

### ②高等学校における観点別学習状況の評価の充実

- ・観点別から評定にする場合の課題
- ・高校生の実態が多様であり、観点別から評定に移行するのが困難
- ・令和4年度入学生からの実施に向け、主体的に学習に取り組む態度を育成する

## 4 関連事項

### ①高大接続に関わる指導要録及び調査書のスケジュール

- ・令和4年度から電子調査書の導入
- ・eポートフォリオの停止
- ・令和3年度に電子調査書の予告が出る

### ②ICTを活用した学習場面

### (3)質疑応答

なし

### (4)連絡

研修会のレポート、アンケートについて

閉会

報告者：御殿場西高校 石田 一希